

寸言

名古屋菱重興産株式会社
取締役社長

頼政 裕和



発展する航空宇宙産業を支える会社として

名古屋菱重興産(株)取締役社長の頼政でございます。昨年3月までは三菱重工業(株)（以下、三菱重工と云う）に勤務して主に民間機の設計に従事しておりました。きょうは航空宇宙産業を支える立場として、弊社と航空宇宙事業の関係についてご紹介いたします。

航空機は200万点もの部品からなり、裾野まで含めて1,000社を超える会社が支えていると言われます。さらにその外側で、弊社は航空宇宙産業に関わっている昭和41年創設、47年目を迎える会社です。名古屋地区の三菱重工各工場の建設・修理、動力供給、総合排水管理や、IT開発など工場や航空機の設計・生産のインフラに関わる事業を中心に事業を行い、また、三菱重工のパートナー会社の工場建設や修理、ITネットワークの整備なども手がけています。その他、寮・社宅の管理、住宅の建設・販売、賃貸などの不動産事業や工場構内の売店なども行っています。弊社の基本方針として『お客様の生産基盤・生活基盤をしっかりと支える』を、スローガンとして『最強最適のインフラ提供』を掲げています。

事業の事例を数点ご紹介します。平成18年に竣工した787主翼組立工場は、柱を少なくして空間を大きく取り、大規模で高精度のクリーンルーム、ホワイトルーム（防塵室）を設置した最新鋭の工場です。ゼネコンとのJVで建設しました。このピラーレス工場の経験

を生かし、平成24年春には三菱重工小牧南工場にMRJ用の整備格納庫を竣工させました。また、これまでの建築実績・ノウハウを生かし、三菱重工のパートナー会社の部品製造・組立工場の建設も行い、平成24年はおかげさまで数多く施工しました。最近では工場壁面・屋上・駐車場緑化や、太陽光発電設置も施工しています。

また、弊社のIT開発技術を活用し、機密保持の高い防衛省殿向けの機体を扱う工場でのアクティブタイプのRFIDを用いた工場のセキュリティシステムを平成24年春に導入完了し、作業員の誰がいつどこにいるか・いたかが判るようにしました。MRJ開発では、3次元データによる設計から製造及び飛行試験を、形態管理を含めて的確に行うためのプロセスとシステムの開発を支援しています。

平成25年度以降は、各社の皆様もMRJや新防衛機等新しい航空機事業で忙しくなるのを期待されているでしょう。弊社は、これまでの経験を踏まえて、お客様に満足いただけるサービス・商品を提供し続けたいと考えています。

最後になりますが、『お客様の繁栄を黒子になって支える』をモットーに航空宇宙産業をご支援して参りますので、今後とも関係業界、企業様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。